

トーク | アーティスト・イン・レジデンスの未来へ - アートと医療をつなぐ・アーカスプロジェクトと袋田病院の取り組みから -



袋田病院アートフェスタ 2019 にて宮地幸&ニナ・グロックナーによるワークショップの様子

茨城県内で実施した2つのアーティスト・イン・レジデンス事業(以下、AIR)の連携から見えてくる未来のAIRの可能性について2つのAIR運営従事者が報告し、話し合います。

今年、茨城県北の精神科病院である袋田病院がオランダよりアーティストを受け入れ、新たにAIRをはじめました。その活動を支援したのは、茨城県南を拠点に26年間にわたってAIRを行ってきたアーカスプロジェクト(以下、アーカス)。事前に双方向の勉強会を行い、アーカスは袋田病院に対し、AIRの運営におけるさまざまな知識やノウハウを、また袋田病院はアーカスに対し、袋田病院が行ってきた精神科医療とアートの実践を共有しました。これを経て、袋田病院はオランダの精神科医療環境でのAIRに取り組んでいる団体「Beautiful Distress」(ビューティフル・ディストレス)との連携で、初めてながらアーティストを招聘し、アートと精神科医療という異分野交流と日本とオランダの異文化交流を同時に行う、全国に先駆けた試みを実施しました。

現在AIRは、アートにとどまらず、さまざまな分野にわたる知的・人的交流や地域創造などの社会的課題とともにその可能性が議論されています。このトークでは、茨城県南と県北、医療とアート、日本と海外の関係をつなぐ仕組みづくりの成果と課題を報告し、次代のAIRの可能性について話し合います。ぜひ、ご来場ください。

日時 | 12月21日(土) 18:00-19:30 (開場17:30)

会場 | SHIBAURA HOUSE 1F [108-0023 東京都港区芝浦3丁目15-4]

定員 | 50名 先着順/要申込 入場 | 無料 言語 | 日本語

登壇 | 渡邊慶子, 上原耕生 [袋田病院アート事業担当]

西本美穂 [オランダ王国大使館], 小澤慶介 [アーカスプロジェクトディレクター]

予約方法 | 要予約/先着順。Google フォームからお申込みください。

<https://forms.gle/opPciTSHMFn46dUo7>



ウェブサイト



申込フォーム

タイムテーブル |

18:00-18:45 報告 | 袋田病院 AIR の実践レポート

渡邊慶子 [袋田病院アート事業担当/作業療法士]

×

小澤慶介 [アーカスプロジェクトディレクター]

18:45-19:30 ラウンドトーク | 「アーティスト・イン・レジデンスの未来へ」

上原耕生^{こうお} [袋田病院アート事業担当/現代美術家] × 渡邊慶子 × 西本美穂 [オランダ王国大使館]

聞き手 | 小澤慶介

※トーク終了後に、交流会があります。タイムテーブル・内容については変更する可能性があります。

[アーカスプロジェクト]

1994年、プレ事業として現代芸術分野において日本初のAIRを発足。茨城県と守谷市が主催し、これまで国内外から106組の若手作家を招聘し支援。

[医療法人直志会 袋田病院]

1977年、茨城県大子町に開院。以来、畜産・自然農法・アート・森林セラピー他を治療に取り入れている。アート事業は2001年より開始。

[Beautiful Distress /オランダ王国大使館]

ビューティフル・ディストレスは、アーティストが精神科病院で創作した作品を通じて、精神障害に対する偏見を取り除くことを目指すプロジェクト。オランダ王国大使館は本プロジェクトの日本展開を支援。

